

『心理的安全性』って聞いたことがありますか？



本校独自の教育ビジョン『SPARK for our well-being!』の『重点事項』の⑤として『ひとりひとりの「心理的安全性」の確保』とあげています。『心理的安全性』とは、

- ①『自分の意見や気持ちを安心して表現できる』
- ②『失敗や質問をしても否定されない』
- ③『人間関係に不安を抱かずにいられる』状態を指します。

Google が 2012 年に発表した『プロジェクト アリストテレス』の研究結果において『心理的安全性』が『高いパフォーマンスを生むチームの重要な要素』と解明されています！したがって、

会社などの組織だけでなく、学校においても『生徒や教職員の成長や挑戦に不可欠』なのです！

『心理的安全性』の高い環境をつくるにはひとりひとりが『意識』することが大切です！『多様性』が叫ばれている時代ですから、『さまざまな意見』があるのは当然のことです。異なる意見や視点が出ることを歓迎し、それを『対立』ではなく『尊重』しながら『対話』で『合意形成』していく必要があるのです！『多様性』を尊重するには『違うこと・異なること』を尊重し、『相手をリスペクト』する必要があるのです！

心理的安全性をつくる「4つの因子」

話 助 挑 新

『いつでも言ってね!』

1 話しやすさ
「何を言っても大丈夫」



『手伝おうか?』より

『伝わせて!』

2 助け合い
「困った時はお互い様」



『すごい! 応援してるよ!』

3 挑戦
「とりあえずやってみよう」



面白いヤツだな!

4 新奇歓迎
「異能、どんと来い」



【学校で『心理的安全性』をつくるための具体的アプローチ】

①学校で『だれもが安心できる文化』を育むとどうなる???

- ・わからないことを『わからない』と言いやすくなる！こんな発言したらどう思われるだろうかという心配がなくなる！
- ・失敗を恐れず、チャレンジしてみようと思える！『失敗』や『間違い』を『さらに成長するための機会』と思える！
- ・友達や先生方との関係がよくなる！助け合える雰囲気ができる！
- ・自分らしく過ごせる！ありのままでいられる！本音でいられる！

Students' Power of Agency and Resilience at Kirisho for our well-being!

②『心理的安全性』を高めるために『自分』ができること！

- ・友達の意見を最後まで聞こう！相手の間違いや失敗を笑わずに『お互いさま！』『次に活かせばいい！』と伝えよう！
- ・『なんでも聞いて！』『いつでも言って！』『いい質問だね！』『ありがとう！』『なるほど！』『そういう考え方もあるね！思いつかなかった！』など、『ポジティブな応答』を心がけよう！
- ・自分のミスなどを正直に伝えよう！『間違えてごめん！』『言われるまで気づかなかった！いまわかったよ！』など時には『完璧さ』ではなく『正直さ』『誠実さ』を見せよう！

③『心理的安全性』を高めるために『みんな』ができること！

- ・『だれもが話せる雰囲気』をつくろう！その反対に、『話さない自由』も認めよう！『話したいときに話せば大丈夫』と思える雰囲気をつくろう！
- ・『否定しない』『間違えても大丈夫』『発言を笑わない』などのルールをクラスや学年、部活動などで決めてみよう！

④『心理的安全性』を高めるために『学校』ができること！⇒『Agency』と『Resilience』の推奨！

- ・学校のことを『決める場』『つくる場』に、『生徒が参加できる機会』を増やす！『生徒のチャレンジ』を歓迎する！
- ・『失敗は当たり前』であり、それを『どう活かすのか』を『学びの機会』にとらえ、『失敗は次に活かせばいい！』という雰囲気をつくる！
- ・校則や行事などについて生徒に考えさせ、『声が届く』『認められる』『みんなの役に立つ』『自分事として行動する』経験を増やす！

クラスや学校は、みんなでつくっていくもの。『安心して過ごせる場所』にするために、『ポジティブな応答』の『プラスの連鎖』を引き起こし、もっと楽しい学校にしていきませんか？

学校がみんなにとって『安心して過ごせる場・挑戦できる場』になるよう、まずは自分がまわりの人々の『心理的に安全な存在』でありましょう！もちろん私も心がけます！<校長 星野 亨>

